

242人に奨学証書

飯塚毅育英会授与式

県内の高校などを卒業した大学生に対し奨学金を給付する飯塚毅育英会（飯塚真規理事長）は24日、宇都宮市内で奨学証書授与式を行った。2026年度の奨学生は過去最多の242人

に上った。

授与式では全員の名前が読み上げられた後、新潟大に進学する宇都宮市、濱崎悠聖さんが代表して証書を受けた。飯塚理事長は「自分が学び、成長することは、やがて周囲の人々、社会、そして次の世代への貢献につながる。困難にぶつかつた時どうか諦めないでいただきたい」と励ましの言葉を贈った。

京都大に進学する佐野市、佐山ひなたさんが「奨学生としての誇りを胸に、将来社会に貢献する有為な人材に成長することを目指します」と誓いの言葉を述べた。

同会は26年度の給付額を、前年度までの月5万7千円から月6万円に引き上げる。



飯塚理事長（左）に対し、誓いの言葉を述べる佐山さん（右） 24日午後、宇都宮市